

他人のものはそうは行かない

三月一日 日曜日

他人のものはそうはいかない

起床九時。

朝めしを食う。

再び、部屋に戻り、床に入り、
夢見心地に、夢想にふけている間に
十二時をすぎた。

天井に張ってある勉強予定表をにらむ。

もう、一日目から遅れている。

古文総復習と、英語の単語のまとめに手をかける。

さすが、一日目、一生懸命である。

時々、手を休め、おおむけになり、
机の壁の写真の方に目を向けると、
また、コックリ。

気がつくくと、まわりでガヤガヤする。

朝もやの中、僕は急ぎ足。

京都大学の入学試験の合格者の発表を
見に行く自分。

兄貴の発表じゃなくて、僕の発表ではないか！